

生後24時間以内に給与される初乳の**量と質**によって、子牛が遺伝的可能性を最大限に発揮できるかどうかが決まります。



MatildaTM
by Dairy Tech, Inc.

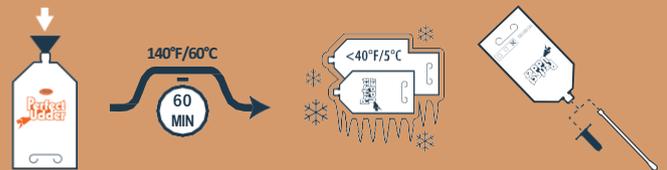
初乳は生後すぐの子牛にとって必要不可欠なもの。搾乳中や保管中、母牛由来の病原体によって汚染されているケースがあります。汚染された初乳を給与することは、初乳を給与しないのと同じことです。

日々の初乳管理を
よりスムーズに
より正確に。

初乳バッグ専用 パステライザー **マチルダ**[®]

マチルダ[®]は、パーフェクトアダー[®]初乳バッグを同時に2袋（最大8 L）まで低温殺菌または哺乳温度へ加熱できます。使いやすいタッチスクリーンコントローラーにより誰でも簡単に操作でき、Bluetoothを搭載しているのでスマートフォンやタブレットと連携することも可能です。

初乳管理システムの改善



バッグひとつで低温殺菌、冷凍保存、解凍、哺乳ができるのでバイオセキュリティの向上に繋がります。バッグは使いきりなので洗浄の手間もありません。

適切なタイミングで適切な量を給与

十分な免疫グロブリンを獲得するためには、少なくとも体重の15%の衛生的な初乳を給与する必要があります。生後すぐの1時間で10%、8-10時間後にさらに5%が理想です。適切な給与量は子牛の大きさによって異なるため、パーフェクトアダー[®]初乳バッグには3つのサイズがあります。

- 4 L：体重30kg以上の子牛向け
- 3 L：体重30kg未満の子牛向け
- 2 L：すべての子牛の2回目の哺乳向け



Matilda[®]

by Dairy Tech, Inc.

仕様

処理容量	2～8 L (初乳バッグ2袋)
電源	三相 200V
寸法	W 560 x D 800 x H 635 mm
重量	本体のみ 34 kg 使用時 125 kg
動作環境	周辺温度 2～38°C
加熱方式	電熱ヒーターによる湯煎
冷却方式	水道水による冷却
殺菌条件	60°C 60分間
メニュー	① 低温殺菌後、哺乳温度まで冷却 ② 低温殺菌後、水温まで冷却 ③ 哺乳温度まで加熱（解凍など）
操作	日本語表記 タッチパネル式
オプション	Bluetooth接続により専用アプリと連動



初乳管理プロトコル

子牛が生またら、保管してあった初乳を解凍して哺乳し、使用済みのバッグは廃棄します。母牛から初乳を搾り、IgGを測定しバッグへ記録。すぐに低温殺菌をして、次に生まれてくる子牛のために冷凍保存をしましょう。

付属品



Dairy Tech[®]
INCORPORATED

株式会社 コーンズ・エージ

〒061-1433 北海道恵庭市北柏木町3丁目104番地1
TEL (0123) 32-1452 | FAX (0123) 32-7052

CORNES AG.
Quality & Innovation